

JATAハワイ視察団が現地で意見交換 受入態勢を確認しプレゼンスの向上も



現地側と意見交換する視察団

日本からの海外旅行再開へ 期待高まる

高橋広行JATA会長を団長とするハワイ視察団が4月3日から3泊5日の日程で現地を訪れました。今回の訪問は、①安心で安全なハワイ側の受け入れ態勢の確認と確立、②ハワイにおける日本市場のプレゼン

ス向上、を目的とし、視察団には、2021年度JATAアウトバウンド促進協議会北中南米部会ハワイ・サブ部会のメンバー旅行会社8社とハワイ路線に就航している日米航空会社5社から総勢21名が参加、ハワイ州知事をはじめハワイ州4市郡長、ハワイ州議会上下院議長との面会、ハワイ・ツーリズム・オーソリティ、在ホノルル日本国総領事館と日本ハワイ旅行業協会との会議・意見交換などを実施しました。

JATA海外旅行推進部の稲田正彦部長は「4月1日付で感染症危険レベルが3から2へ引き下げられ、実質的に募集型企画旅行が再開できるタイミングで視察団が訪問し、ハワイ側の歓迎ムードと日本からの海外旅行再開への期待が高まっていることを実感した」と語り、「日本人旅行者の復活を心待ちにしているハワイ側の期待に応えるべく空白の2年間で

早急に埋めなければならない」と訴えています。

ハワイ側は万全の体制で 日本人旅行者を受け入れ

ホノルルのワシントン・プレイスで視察団と面会したハワイ州のデビッド・イゲ知事とハワイ・ツーリズム・オーソリティのジョン・デ・フリーズ局長兼CEOは、JATAが視察団の最初の目的地としてハワイを選んだことへの謝意を示すとともに、ハワイへの日本人旅行者回復に向けて全面的に協力する考えを表明。日本側も、ハワイへのツアーが海外旅行商品販売の先駆けになると指摘して、イゲ知事による日本人旅行者向けの歓迎メッセージ発信を要請し、7月以降の本格的なツアー開催に向けて努力する方針を伝えました。

また、ハワイ・コンベンション・センターで面会したハワイ州議会のロ

ナルド・コウチ上院議長とスコット・サイキ下院議長は、感染防止対策の徹底と医療体制の充実により、日本人旅行者の受け入れに万全を期すことを強調しました。

◆マラマの精神で 新たなハワイ旅行へ

視察団によるハワイ訪問の直前に感染症危険レベルは引き下げられたものの、1日当たり入国者数の上限規制、日本入国時におけるCIQ問題など、国際往来の本格的な再開に与る阻害要因が残されていることから、JATAとしては、こうした課題の解決に向け、関係方面への働きかけも強めていきます。

今回の視察団訪問では、現地側との会議で「マラマ」思いやりの心（レスポンスブルツーリズム）という言葉が繰り返されていきました。世界的な観光の潮流変化を旅行会社の企画担当者は十二分に理解する必要があります。日本からのハワイ旅行の本格的な再開に向け、高い消費額によるハワイ経済への貢献と「マラマ」の精神に基づいた地元コミュニティとの共生をいかに実行していくかも大きなポイントになってきます。